

社会科の窓 VOL 4

令和3年6月1日

京都市立稲荷小学校 校長 吉山 茂樹

「選択单元， どうして選んだらいいですか？」（5年）PART 2

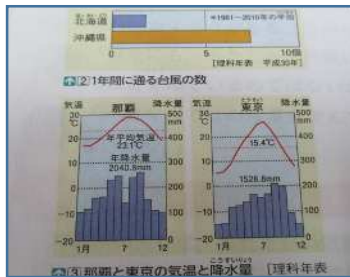
今回は， 低い土地と高い土地を選ぶときの観点について， 述べました。

低い土地（岐阜県海津市）⇔ 高い土地（群馬県嬭恋市）

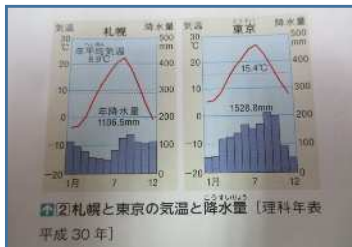
今回は，

暖かい土地の暮らし（沖縄県）⇔ 寒い土地の暮らし（北海道）

の单元です。これも， 最初の中心資料で， どちらの方が身近に感じられるかという視点で考えたいと思います。まず気候についてつかみます。



沖縄は， 1年間に台風が
たくさんくる。
1年を通して， 暖かい。
台風の関係で， 雨がたくさん降る。



北海道は， 年間の平均気温が低い。
8.9°だ。作物は， 育つのかな。
冬に降水量が多いのは， 雪のせいだ。

このような気候なら， どんなくらしをしているのだろうか。と， いう流れになります。そこで， どちらも， 家が出てきます。その時に， 沖縄の昔の家にはたくさんの工夫が隠れています。ぜひ， これを取り上げたいというおもいで私は，

沖縄県を選びます。



周りを壁にして， 台風の風をふせいでいる。
木を植えて風をふせいでいる。
やねがわらは， じょうぶそうだ。
屋根の上に， おきものがある。
風通しもよさそうだ。

このように、沖縄県の昔の家の絵をじっくり見せることで、生活の工夫がたくさん見付けられます。

この後、暖かくて雨の多い気候を生かして、どんな作物がとれるだろうか。と、問うて、教科書にのっている2枚の写真を見せます。



細長い、作間で見たことがないな。
さとうきびと言って、
さとうの原料になるんだ。
細長いので、
台風の被害も受けにくいな。



一面のパイナップル畑だ。
「ゴールドハレル」という、
品種は高くで売れる。
暖かい気候を利用して、
菊などの花も作っているよ。

このように、暖かい気候を利用して、さとうきびやパイナップルが収穫できることを理解します。次に、さらに深める有効な資料があります。沖縄の観光客の増減を表す資料です。沖縄の観光客は、どうなっていると思う！？と、聞いてみると子どもたちは、どう予想するのでしょうか。きっと、増えていると予想する子どもたちが多いかと思います。でも、このグラフを見ると、



ものすごく観光客が増えている。
どうしてかな？
やっぱり、きれいな海があるのかな？
他にもどんなことがあるのかな？

と、いう意識のもと調べ始めます。この資料から、古くからの文化があることも観光客がたくさん来る理由であることをつかみまず。このように、深く調べることができます。



選択単元について、述べてきました。私は、せっかくなので、発展応用として、調べていない方の土地も自主学习で調べさせたいと思います。